

2011年5月25日

中国華北地区におけるポリプロピレンコンパウンド事業拠点構築について

住友化学は中国におけるポリプロピレン（PP）事業をさらに強化するため、このたび、中国華北地区の遼寧省大連市にPPコンパウンドの事業拠点を新たに設立することを決定いたしました。

当社はかねてから、PP事業のグローバル展開を積極的に推進しており、日本、シンガポール、アメリカ、サウジアラビアの世界4極で、年産200万トン規模のPP供給体制を構築しています。同時に、PPコンパウンド事業についても、PPの生産能力を最大限に活用して事業を強化するための柱と位置づけ、中国華南地区を皮切りに、欧州、北米、タイ、サウジアラビアに事業拠点を設立し、拡大を図ってまいりました。

PPコンパウンドは、自動車のバンパーや内装などの用途に応じて、PPに合成ゴムや無機フィラーなどの素材を混練し、耐衝撃性や剛性などを向上させた高機能材料で、自動車の生産台数や1台あたりの使用量の増加などにより毎年高い成長を続けています。

経済的な発展とともに世界最大の自動車市場となった中国においては、2005年に東洋インキ製造株式会社（現、東洋インキ SC ホールディングス株式会社）との合弁で、広東省珠海市に珠海住化複合塑料有限公司を設立し、主に華南地区の需要に応じてまいりました。同社は、2008年に生産能力を倍増した後も旺盛な需要に支えられ、フル操業を続けております。一方で、更なる需要増への対応、特に急速に拡大している華北地区への供給体制の拡充・整備が課題となっていたことから、今般、遼寧省大連市に新たな拠点を設立することとしたものです。大連市は、国際貿易港を有していることから物流面で優位性があり、また、今後、有力自動車メーカーの進出も予定されております。さらに、瀋陽市や天津市といった他の顧客の立地場所とも近接しています。

新会社は、当社と珠海住化複合塑料有限公司との合弁会社とし、同社が持つ中国での運営実績やノウハウを最大限に活用しながら、華北に進出する日系自動車メーカー向けに加え、非日系顧客向けの事業拠点として、中国でのさらなる事業拡大を目指してまいります。

<新拠点の概要>

- ・会社名 大連住化複合塑料有限公司（仮）
- ・所在地 中華人民共和国遼寧省大連市金州新区
- ・資本構成 住友化学：50%、珠海住化複合塑料有限公司：50%
- ・生産能力 1万トン／年
- ・設立時期 2011年8月頃（予定）

<珠海住化複合塑料の概要>

- ・会社名 珠海住化複合塑料有限公司
- ・所在地 中華人民共和国広東省珠海市斗門富山工業区
- ・資本構成 住友化学：55%、東洋インキ SC ホールディングス：45%
- ・生産能力 2.2 万トン／年
- ・設立時期 2005 年 5 月